



# IFFT/ Interior Lifestyle Living 開催！

**会期：2018年11月14日（水） - 11月16日（金）**

**会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール＋アトリウム**

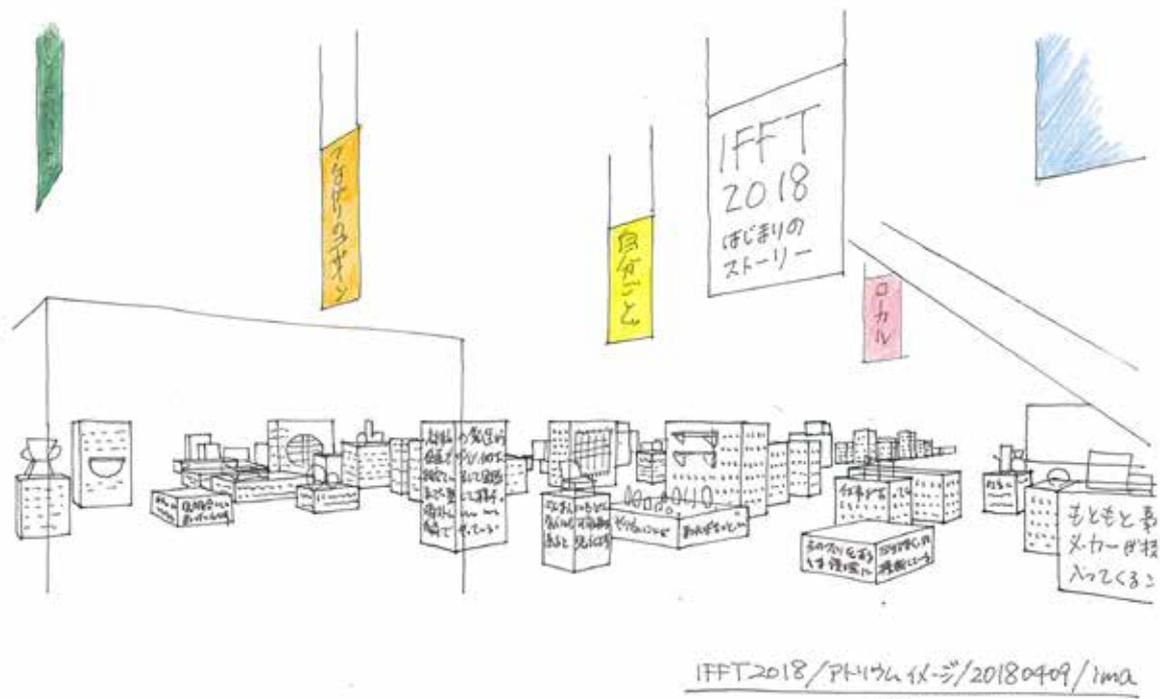
**時間：10:00 - 18:00（最終日は17:00まで）**

今年も、秋のインテリア・デザインの国際見本市「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング」(IFFT/ILL)が、東京ビッグサイトで開催されます。国際家具見本市 (IFFT) を前身とし、日本各地の家具産地をはじめ、世界各国からテーブルウェア、デザイン雑貨、生活用品などの他、素材・技術にフォーカスしたゾーンなどが加わり、生活空間にまつわる様々な分野のプロダクトのデザイン、製造や販売を行う400社を超える出展者が集結します。国内外より約17,000人を超えるビジネス来場者が訪れ、人、モノ、情報を通じたさまざまな出会いが巻き起こります。

IFFT/ILLの玄関口でもあるアトリウム特別企画では、「日本仕事百貨」代表・ナカムラケンタ氏をディレクターに迎え、「はじまりの仕事展」を開催。新しい試みとして、アトリウムを一般解放します。アトリウム会場には「ブース」を設けず、各ホールの展示へと導くよう、「インデックス」的な機能をもたせた展覧会形式に。単に、「モノ」の売り買いだけでなく、その背景にあるストーリーや作り手の思いを伝える場となるような提案型の総合見本市です。出展者の数だけたくさんの発見や驚きがあります。さまざまな出会いをお楽しみください。

※メッセフランクフルト ジャパン（株）は、6月に「インテリア ライフスタイル」を、11月に（一社）日本家具産業振興会との共催で「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング」を開催しています。どちらも家具から小物、雑貨まで衣食住に関わる商材を持つ出展者が集まる「ライフスタイル提案型」のインテリア・デザインの総合見本市。ドイツ・フランクフルトで開催される世界最大級の国際消費財見本市『アンビエンテ』とホームおよびコントラクトテキスタイル国際見本市『ハイムテキスタイル』の2つを母体とする姉妹見本市です。

## アトリウム特別企画 「はじまりの仕事展」



ものの選び方、価値基準は多様になっています。機能やデザインだけでなく、その成り立ちやストーリーなど、ものを取り巻く部分により興味関心が高まってきているのではないのでしょうか。ものが生まれた背景、経緯、そこにある事実には、人の心に働きかける魅力が詰まっています。

今回アトリウム特別企画では、「日本仕事百貨」代表・ナカムラケンタ氏をディレクターに迎え、「はじまりの仕事展」を開催。各ホールへより多くの来場者を誘うように「ブース」ではなく、「インデックス」の機能を設け、出展者のプロダクト約80をセレクト。ナカムラケンタ氏により導き出される、展示品に込められた「はじまりのストーリー」そのエッセンスとなる言葉とともに、大小様々なボックスにのせてご紹介します。また、各ボックスにはカードが設置され、来場者は気に入ったストーリーや商品のカードを単語帳のように集めてブースを巡っていただくことができます。「展示会」に「展覧会」の機能を取り入れることで、より多くの方が興味を持って参加していただける場に。トークショー会場、カフェスペースもアトリウム会場に配置し、来場者が会場を巡るハブとなりタッチポイントを創出します。また、初の試みとしてアトリウムを、一般解放します。その先にあるたくさんの出展者の物語のプロローグとして、自由にご覧いただき、出会いや発見をぜひお楽しみください。

### ディレクターメッセージ：

世の中にはさまざまな仕事があります。身の回りには誰かの仕事の結果です。そして、どの仕事にもはじまりがある。どのように生まれたのか。0が1になるのはどんな瞬間だったのか。はじまりのストーリーには、形や機能と同じくらい、惹きつけられるものがあります。アトリウムの展示用にセレクトされた80の出展者の皆さまの「はじまりのストーリー」をお伝えします。



### アトリウムディレクター

ナカムラケンタ 株式会社シゴトヒト / 代表

“生きように働く人のための求人サイト”「日本仕事百貨」を企画運営。さまざまな“働く”のかたちを取り上げることで、仕事と人の出会いのきっかけをつくる。生き方・働き方を考える本のレーベル「シゴトヒト文庫」や、いろいろな生き方・働き方に出会うことのできる場所「リトルトーキョー」や「しごとパー」の企画・運営など“仕事”をテーマにさまざまなサービスを提供している。



### グラフィックデザイン

BAUM LTD. 宇田川裕喜、國影志穂

ba-um.com

空間デザイン

設計事務所 ima 小林恭+マナ

www.ima-ima.com

## 出展者情報



SUMIDA CONTEMPORARY  
東京  
sumidacontemporary.tokyo/  
ゾーン：MOVEMENT E-22

300年前から現在に至るまで、工場や手工業がとて多いものづくりの町、東京都墨田区。墨田区の一プロジェクトとして、スイス出身のデザインディレクター、ダヴィッド・グレットリを招き、墨田のものづくりのサポートとプロモーションを目的に始まった SUMIDA CONTEMPORARY は、金属成形、革製品、ガラスなど7社のメーカーと、日本や世界で活躍する11組のデザイナーがコラボレーション。伝統と卓越した職人技と、創造的かつ革新的なデザイナーのアイデアを集結し築いてゆく現代の生活に沿うプロダクトレベル。新しい時代の東京、日本の更なるものづくりの発展への貢献を目指す。



NANASAN/  
TAKAHIDE HASHIMOTO DESIGN  
滋賀  
ゾーン：FOODIST HF-03

滋賀県高島市安曇川の和菓子屋「とも栄」の跡取りが2017年に立ち上げたブランド「73(ナナサン)」。栽培が難しく、国内で唯一商業化に成功した安曇川の三角州で栽培される幻の果実「ボイセンベリー(通称：アドベリー)」を味を軸とした商品展開。今でも住民が大切に守り続けている「七シコブチ」。これはかつて安曇川で盛んだった筏師の守り神「シコブチさん」を祀る7つの主要な社の総称。ブランド名の「73(ナナサン)」には、「七シコブチの加護を三角州のアドベリーに」との願いを込められている。



三和化工株式会社  
京都  
ゾーン：MOVEMENT E-32

1965年に発泡ポリエチレン専門メーカーとして創業し、「泡を形にする」ことを主体にして技術開発型の企業を目指してきた三和化工。発泡体の成形・加工の過程でできるリサイクル素材でカラフルな迷彩模様をしている「ポリモック」は、端材の圧縮成形によってできており、ひとつとして同じ表情のものはない。そして今回、緩衝材やビート板など幅広い用途で用いられるサンペルカという材がもつ豊富なカラーバリエーションとの組み合わせで、世界で唯一の製品、「カラーポリモック」が誕生した。



デザイン椽(丹後の暮らしの布)  
京都  
design-tochi.jp  
ゾーン：ACCENT H-40

京都の北部、丹後半島は、丹後ちりめん、西陣織といった絹織物の産地。西陣織や丹後ちりめんの伝統工芸織技術を使った金属線織物。通常は工業製品のフィルター等に使用されるものだが、丹後半島の小さな工場でもものづくりを行うデザイン椽は「このメタリックな輝きを持つ魅力的な素材を、インテリアデザインの現場で使えないか?」と考えた。そして金属線を使い、産地の特徴の一つ、ジャカード織の開発を始めた。綿、ポリエステルなど一般的な織物素材に比べて、金属線は伸縮性がなく硬い。ただ、ジャカードを使うことで織物の柄表現が自由にでき、あらゆる表情を持たせることが可能となり、「Harigane」が生まれた。



ギブクルー  
インドネシア  
www.jenggala.com  
ゾーン：KITCHEN LIFE H-45

1976年にインドネシア・バリ島サヌールでスタートした小さな窯元「ジェンガラ」。ミックジャガー、ジョンレノン、イングリッドバーグマン、英国貴族第十五代ベッドフォード公爵夫妻などセレブに永年愛されたアジア初のプティックホテル、タンジュンサリのためにオリジナルで製造していた食器や床タイルがブランドとして成長。現在ではバリの高級ホテルのおもてなしアイテムとして欠かせないブランドに。南国の高級リゾートにいるような気分を家庭で味わえるアジアテーブルウェア。工程はすべてハンドメイド。ユネスコ・ハンドクラフト優秀賞受賞。



株式会社フロンティア  
大阪  
www.frontier-inc-web.com  
ゾーン：MOVEMENT E-05

靴製造技術をスリッパに活用し、歩き易さや安全性にとことんこだわり、「歩く」ということを真剣に考えた新感覚のスリッパ「room's」。靴やサンダルは、履き心地や歩き易さにこだわった商品が数多く販売されている。一方、家の中でも歩くという行為はたくさん行われているはずだが、スリッパなどの室内履きには、靴のような歩き易さはあまり重要視されていない。靴やサンダルの企画輸入メーカーに長年勤めてきた現社長が、靴製造で使用しているのと同じ木型を活用し、驚くほどのフィット感を持つスリッパを生み出した。



KURAKIN  
岐阜県  
kurakin.jp  
ゾーン：ACCENT H-04

1956年創業、主に織物などの染色整理加工を行う艶化学繊維株式会社手がける布製品ブランド。取り組みを始めたきっかけは、ピーナツ加工会社から出る渋皮を色素として再利用できないかという依頼だった。食品をつくる過程で食べるものの材料の「のこり」を原料とする染色なので「のこり染め」と命名。ピーナツに留まらず色々な食品会社を訪問し色のバリエーションも増やした。やわらかな自然な色合いを特徴とした布から生まれる、シンプルな形の暮らしの道具。



日東電化工業  
群馬  
osaji.net  
ゾーン：ACCENT H-14

国産オーガニックコスメブランド OSAJI の創設者 茂田正和が、化粧品開発をはじめたきっかけは、不慮の交通事故の影響で皮膚疾患を起し、愛用の化粧品を一切受け付けなくなった母親のために、皮膚科学に基づいたシンプルで低刺激なコスメの開発を始めたこと。そして、より高い基準を目指しシンプルオーガニック発想のコスメ、OSAJI にたどり着いた。原料は原料メーカーの安全性試験をクリアしたアレルギーリスクのないものだけを採用。植物原料も未精製のものを使用していない。半熟石けんは抗酸化作用に優れた竹炭を配合し、肌をしっとり洗い上げます。

## 会場構成

毎年テーマを変える「アトリウム特別企画」と12のゾーンで構成しています。

### 1. HOME

#### 新たな住まいのスタイル提案

国産家具から海外ブランドまで幅広いラインナップの中から、住まいの世界観を変える、多様なテイストの家具、照明、テキスタイルなどが見つかります。

### 2. ACCENT

#### 暮らしに新たなアクセントを

デザイン雑貨、ギフトアイテム、アート&オブジェ、フレグランス、服飾雑貨、ステーションナリー、デジタルガジェットなど、生活に「アクセント」を加える幅広い商材が集まるゾーン。

### 3. EVERYDAY

#### 美しい暮らしの生活用品

収納や整理のためのアイテム、水まわり品、新しい家事習慣、ホームケアのための毎日の生活用品が揃います。

### 4. KITCHEN LIFE

#### 食卓から料理まで新たなシーンを

上質なテーブルウェアから最新のキッチン道具、ダイニング道具まで、住まいの中心となったキッチン空間のためのアイテムが揃います。

### 5. GLOBAL

#### 世界各国のブランドが集結

日本にいなから海外のブランドやものづくりと出会えるゾーン。インテリア、デザインの世界的な動向が見えてきます。

### 6. JAPAN STYLE

#### 日本のデザインとものづくりを発信

日本国内だけでなく、ヨーロッパやアジアからも注目されている日本のプロダクト。特に洗練された、質の高い日本のプロダクトが並びます。

### 7. MOVEMENT

#### 最新デザインの動向を反映

国内外で高く評価されているコンテンポラリーなデザインブランドが勢揃い。

### 8. NEXT

#### ステップアップのためのサポートプログラム 1

注目の若手起業家による新規ブランド発信の場。次世代を担うデザインプロダクトを発表します。

### 9. TALENTS

#### ステップアップのためのサポートプログラム 2

今後世界にはばたくであろう、新進気鋭のデザイナーと企業を結ぶプラットフォーム。

### 10. FOODIST

#### ステップアップのためのサポートプログラム 3

国内外のこだわりあるライフスタイルに溶け込む多様な食の提案の場。

### 11. -JEWELRY- selected by New Jewelry 注目のジュエリー特別企画

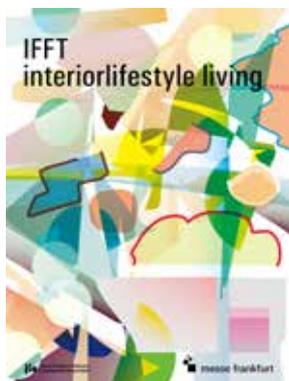
森和彦氏 (New Jewelry) のセレクトによる、個性的なジュエリーブランドが集結。

### 12. CREATIVE RESOURCE

#### 空間のための素材と造作

壁面、ペイント、床材、テキスタイル、タイル、ガラス、建具や金物など、住空間のヒントとなる多様な素材が集まります。

## Outline



### IFFT/ インテリア ライフスタイル リビング 2018 開催概要

会期 2018年11月14日(水) - 16日(金)

会場 東京ビッグサイト 西1・2ホール+アトリウム

時間 10:00 - 18:00 (最終日は17:00まで)

主催 (一社) 日本家具産業振興会

メッセフランクフルト ジャパン (株)

### PRESS CONTACT

メッセフランクフルト ジャパン (株)

プレス担当 柏木克哉

東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F Tel. 03-3262-8453

Press@japan.messefrankfurt.com www.jp.messefrankfurt.com

デイリープレス

担当: 川村美帆 / 竹形尚子

東京都目黒区青葉台 3-5-33 tel. 03-6416-3201

info@dailypress.org